



▲水管理や病害虫防除についても説明する職員

健苗育成に向けて J Aが苗代巡回を実施

J Aでは水稲育苗の生育状況などを確認するため、4月25日から5月2日までの5日間、管内3地区で苗代巡回を実施しました。

J A職員などが各生産者のハウスを見て回り、育苗管理について相談や指導を行いました。今年も春先は低温でしたが、日照量は平年並からやや多い状況であり、職員らは「日照によるハウス内温度の上昇を見極めて、適温管理に努めてほしい。」と呼びかけました。



▲白神和牛の紹介を行う佐々木さん親子と長島アナウンサー

『JAみどりの広場』で 白神の特産品をPR

毎週土曜日午前11時から秋田テレビで放送されている『JAみどりの広場』。その収録が当管内で行われ、生産農家が農畜産物の特徴や取り組みを紹介しました。

(4月21日に放送しました。)

収録では佐々木忠義さん(藤里町粕毛)が手がける「白神和牛」と、淡路敬子さん(藤里町大沢)が採取・加工を行う「ふきのとう」を取材。飼育のポイントや調理法を紹介しながら、白神特産品をPRしました。



▲こいのぼりは各家庭からの寄贈によるもの

開催25年目を迎えた こいのぼりの大遊泳

子どもたちの健やかな成長と地域活性化の願いを込め、能代市常盤の山谷地区で4月22日、名物行事の「こいのぼりの掲揚」が行われました。

毎年5月5日の『こどもの日』に合わせて、昭和62年から山谷地区子ども会と自治会が行っており、今年も色鮮やかな110匹のこいのぼりが掲揚されました。連休中は大空を気持ち良さそうに泳ぐこいのぼりを見ようと、市内外から見学客が訪れました。



▲白神大豆の更なる販売力強化を訴える高橋部会長

カントリーエレベーターを利用して 販売経路の拡大を図る

J A大豆生産組合の平成23年度総会が、4月12日に能代市のシャトー赤坂で開かれ、平成23年度事業報告や収支決算など全3議案が協議され、原案通り承認されました。

平成23年度の大豆販売高は当初の計画を大きく上回る、前年対比190%の売り上げを記録。また今年から稼働するカントリーエレベーターを活用して、高品質大豆の安定的な出荷と6次産業化にも取り組んでいきます。

